

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～大庭城の歴史と引地川の自然を訪ねる～

日時：2023年5月17日（水） 20日（土） 10：00～14：30

場所：藤沢市

参加者：一般40名（17日28名、20日12名）スタッフ7名

JR 辻堂駅に集合しバスで大庭小学校バス停まで行き、そこから大庭城の裏門があったところにある裏門公園の脇を通り、大庭城址公園へと向かいました。途中の歩道沿いでトネリコ、サンゴジュ、サルスベリ、ノビル、マンテマ、カモガヤなどを観察しました。大庭城址公園は昭和60年に総合公園として開園したもので中世城郭としての旧地形が保存されたまま公園になっており、空堀や土塁を見学しました。園内にはたくさんの植物があり、クスノキやユリノキ、メタセコイア、ヤマボウシなどの樹木や足元のドクダミ、アカバナユウゲショウ、オニタビラコ、ニワゼキショウなどの花を観察しました。

大庭城址公園を出て哀れな老婆の伝説が残る舟地蔵を見て引地川親水公園へ向かいました。ここではスダジイ、ラクウショウ、アキニレ、ハンノキ、ハコネウツギなどの樹木や、アシ原の中の木道脇でミゾコウジュ、ウキヤガラやタコノアシなどを観察しました。

引地川親水公園での昼食後、大庭神社へ向かい、ふるさとの森を通り引地川右岸へ出ました。右岸の遊歩道を歩き、養命寺へ向かいました。遊歩道脇ではユズリハ、ヒメユズリハ、マンサク、モッコク、カルミア、ウツギなどの樹木を観ることができました。またヘラオオバコ、アカツメクサ、ハルジオン、ヒメジョオンなどの草本も花盛りでした。途中の柏山稲荷神社は2019年の大風19号の被害のため立ち入り禁止のため遊歩道から見学しました。最後に旧東海道沿いにある曹洞宗の養命寺へ寄り、ここで解散としました。

17日、20日と大庭城址公園から引地川沿いの遊歩道へと自然豊かな中で植物観察をしながら散策を楽しむことができました。

（ 花田記）



裏門公園



大庭城址公園のクスノキ



引地川親水公園のラクウショウ



大庭神社



引地川遊歩道



柏山稲荷神社



養命寺